

第6学年 道徳科学習指導案
教材名：「手品師」

- 1 日 時 令和元年5月14日（火）第5校時（13：55～14：40）
- 2 場 所 6年1組教室
- 3 学 年 6年1組
- 4 主 題 名 明るく生きる A 正直・誠実
- 5 本時のねらい 男の子との約束を守った手品師の姿を通して、夢と約束の間に揺れながらも、自分の良心に誠実であろうとした気持ちについて考え、常に誠実に行動し、明るい生活をしようとする心情を育てる。
- 6 教材名 「手品師」（「小学道徳 生きる力6」日本文教出版）

7 主題設定の理由

(1) 主題について

小学校学習指導要領解説特別の教科道徳編では「A 主として自分自身に関すること」の(2 正直・誠実)の5・6年生指導内容項目の中で、「誠実に、明るい心で生活すること」を取り上げている。

健康的で積極的に自分らしさを発揮できるようにするためには、自分の気持ちに偽りのないようにすることが求められる。また、自己の過ちを認め、改めて生活していく素直さとともに、何事に対しても真面目に真心を込めて、明るく楽しい生活を心がけようとする姿勢を持つことが大切である。

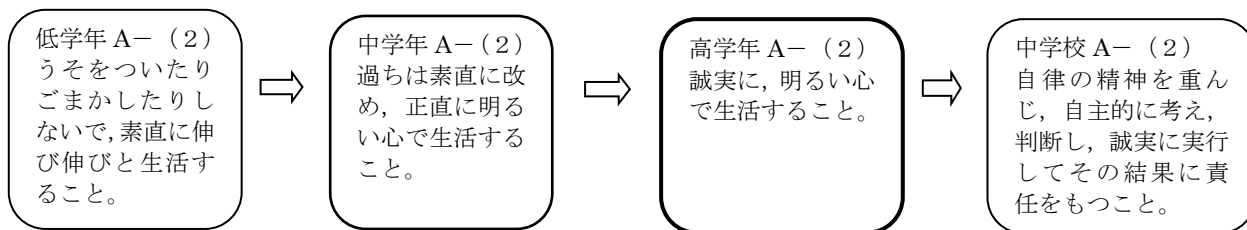
過ちや失敗は誰にでも起こりうることである。そのときに、ともするとそのことで自分自身が攻められたり、不利な立場に立たされたりすることを回避しようとしてうそを言ったり、ごまかしたりすることがある。しかし、そのような振る舞いはあくまでも一時しのぎにすぎず、真の解決には至らない。このことによって、他者の信頼を失うばかりか、自分自身の中に後悔や自責の念、強い良心の呵責などが生じる。

それらを乗り越えようとするのが正直な心であり、自分自身に対する真面目さであり、伸び伸びと過ごそうとする心のすがすがしい明るさである。このような誠実な生き方を大切にする心を育てていくことが重要である。

人は社会的な存在であり、家族や学校をはじめとする様々な集団や社会に属して生活を営んでいる。よりよく集団生活を送るため、基本的なマナーや礼儀作法などのきまりを、一人ひとりが守らなければならない。さらに、自分のことだけでなく他者のことも大切にしたい上で、やらなければならないことを進んで行っていくという考えを育成することが大切である。

児童の発達段階においては、自分自身に対する誠実さがより一層求められる。特にその誠実さが自分の内面を満たすだけでなく、例えば、他の人の受け止めに過度に意識することなく、自分自身に誠実に生きようとする気持ちが外に向けても発揮されるように配慮する必要がある。そのことが、より明るい心となって行動にも表れ、真面目さを前向きに受け止めた生活を大切にすることで自己を向上させることや自信にもつながっていく。

【内容項目とその系統】



(2) 児童観

本学級の児童は、4月から最高学年としての行動を意識している。全体の中での率先した動きや1年生とのかかわり等積極的に自分らしさをだしていける場が多くなっている。全体的に明るく行

動する児童は多く、自分の考えも素直に表現できる児童が多い。児童アンケートで「今までにうそをついたりごまかしたりしたことはあるか」という問いに対して、全員が「はい」と答えた。その時の気持ちとしてほとんどの児童が「いやな気持ちになった。」「もやもやする。」「申し訳ない。」といった自分自身の中に後悔や自責の念が生じたという経験をしている。場合によって事情もあるという考えで「わる気はないからいいのでは」といった児童も5名いた。どちらにしても、「うそ」をついた事実はいつまでも心に残り、うしろめたさがあることが伺える。

これらの実態をふまえ、よくないことと知りつつも自分の意に反して周囲に流されてしまうことや傍観者として過ごしてしまうことは、決して心地のよいものではなく、後ろめたさから、誇りや自信を失ってしまうことにつながることを考えられるように指導することが必要である。

(3) 指導観

本教材は、腕はよいが売れない手品師が、偶然に出会った一人の貧しく寂しい境遇にある男の子に手品を見せ喜ばせる。翌日にも会うことを約束するが、その夜、友人から大劇場出演の依頼を受け、「大劇場出演」という自分の夢の実現と「男の子との約束」の間で葛藤し、苦悩する。そして迷った末に友人の誘いを断り、男の子との約束を守るという内容である。手品師が迷っている姿から、前日の約束を守り男の子のもとに行くか、自分の夢をかなえるために大劇場の出演を選ぶか児童の意見は分けられると考えられる。どちらの考えも間違っていないが、男の子に対する誠実さが自分に対する誠実さでもあることを自覚し、夢をかなえる機会を失っても心を曇らせることなく明るい気持ちで手品を演じた手品師の姿を通して、良心に従うことの良さを実感させたい。

指導にあたっては、主体的な学びをしていくために、導入時に自分自身の生活場面をふりかえり、自分の心の中にある弱さを見つめ、本時のねらいに対する課題意識をもてるようにする。さらに、展開では自己内対話をしながら自分の考えを道徳ノートに書かせる。その上で、改めて具体的な生活場面を想起させ、実践意欲を高めていく。

対話的な学びをしていくために、手品師が大劇場に出たいと考えている思いと男の子との約束を果たそうとする思いのどちらの立場も考えることで葛藤する心の中を多面的・多角的に考えさせていく。また、全体で話し合うだけでなく、状況に応じてペアトークを取り入れて、友達の意見にふれさせる。

深い学びをしていくために、手品師の思いに共感的理解を深めていくように発問を構成し、自我関与を中心とした学習の展開としていく。中心場面以降の発問については、今までの体験場面を想起させながら、終末で導入時の話題をもとに道徳的価値について新たな発見や学びをふりかえらせていく。

◎研究テーマとの関係

【研究主題】

「誰もが学ぶ喜びと自信がもてる、主体的・対話的で深い学びの創造」

○主体的な学び

- ・導入時に道徳的問題にふれ、課題意識をもつ。
- ・自分自身との関わりでとらえ、考える。
- ・新たな学びを自覚する。

○対話的な学び

- ・協働し、対話する学び。
- ・多面的・多角的に考える。

○深い学び


- ・教師の指導方法の工夫により、新たな気づきや変容がある。

8 本時の展開

(1) 準備物

場面絵 ネームプレート

(2) 学習の展開

	学習活動	主な発問と予想される児童の反応	指導上の留意点 (※評価)
導入	1 「約束」についての今までの自分を振り返る。	○約束を破ってしまった時、守った時の気持ちを振り返る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">約束を破ってしまう時は、どんな気持ちなのだろう。</div> <ul style="list-style-type: none">・申し訳ないと思う。・後で言われるかもしれないともやもやする。	○アンケートの結果も紹介していく。 ①今までの自分を振り返りながら、他者の意見と自分の思いと比較し、「うそ」「約束を破ってしまう」心を見つめ課題意識をもつ。
		ずっと残るもやもやの心をどう考えますか？	
展開	2 教材「手品師」を聞いて話し合う。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">受話器をもち、迷いに迷っている手品師の気持ちを考えよう。</div> <p>【大劇場】</p> <ul style="list-style-type: none">・大劇場に出て有名になりたい。・暮らし向きを少しでも楽にしたい。・夢が実現するのだ。 <p>【男の子との約束】</p> <ul style="list-style-type: none">・約束したのだから行かないと・・・・ほおっておくことはできない。・自分の心が許せない。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">「きっぱり」と断った手品師。子どもとの約束を果たそうとした決め手となった心は何だろう。</div> <ul style="list-style-type: none">・男の子は、自分のことを待っている。・約束を破ったら、ずっと後悔する。・約束を破るような自分は許せない。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">たった一人のお客様の前で手品をしている手品師はどんな気持ちだろう。</div> <ul style="list-style-type: none">・チャンスは逃したけれど、これでよかった。・自分の決めたことは間違っていなかった。・喜んでくれている。よかった。・大劇場ではなく、男の子との約束を守ってよかった。 <p>(なぜこのようにすがすがしい気持ちになれるのだろうか。そんな気持ちになったことがありますか。)</p> <ul style="list-style-type: none">・約束を守ると自分で決めたことだから・自分に正直に生きたから	○臨場感をもち、自我関与できるように、読み語りで教材提示をしていく。 ①どちらの気持ちが強いのか、ネームプレートで意思表示する。 ②意見の交流においては、葛藤している手品師の両方の立場を考慮することで、多面的・多角的に考えられるようにしていく。 ③手品師に自我関与しながら道徳ノートに考えを書く。 ④ペアで互いの考えを確認し、全体で話し合う。 ○自分の決断に清々しさを感じている手品師の気持ちに共感させる。 ⑤補助発問として「なぜすがすがしくなったのだろう。」と問うことで、課題と結び付けて考えていけるようにしていく。 ⑥①具体的な生活場面を想起させることで、実践意欲を高めていく。 ※手品師の教材を通して気づいたことをもとに、誠実に行動することが明るい生活につながることを考えることができたか。(ワークシート 発表 見取り)

<p>終末</p>	<p>3 新たな学びを書く。</p>	<p>今日の新たな学びを書きましょう。 ・「もやもや」が残る・・・そこには誠実に生きようとする心の芽生えがある。</p>	<p>○新たな学びを道徳ノートに書く。 ○自分の中にある誠実な心を感じながら余韻をもって終わる。</p>
-----------	--------------------	---	---

9 板書計画

自分に正直
誠実
すがすがしい心

「きっぱり」と断った手品師

約束したのだから
ほおっておけない
一度約束したから

有名になりたい
暮らしを楽に
夢が実現する

ずっと残るもやもやの心って...

「約束をやぶった」いつまでも心に
もやもやが残った
悪い気がした。

手品師

大劇場

ネーム
プレート

男の子

これだよかった
決めたことは間違っていない
約束を守ってすっきり

自分を待たせてくれている
約束を破ったらずつと後悔
自分が許せない
一度決めたこと

第6学年 道徳科学習指導案

教材名：「手品師」

- 1 日 時 令和元年5月14日（火）第5校時（13：55～14：45）
- 2 場 所 6年1組教室
- 3 学 年 6年1組
- 4 主 題 名 明るく生きる A 正直・誠実
- 5 本時のねらい 男の子との約束を守った手品師の姿を通して、夢と約束の間に揺れながらも、自分の良心に誠実であろうとした気持ちについて考え、常に誠実に行動し、明るい生活をしようとする心情を育てる。

ねらい
 ①～を通して、（中心場面）
 ②～を考えさせ（主題を）
 ③～を育てる。～を養う。（求めたい児童の反応、高めたい児童の姿）

6 教材名 「手品師」（「小学道徳 生きる力6」日本文教出版）

7 主題設定の理由 (2) 主題について

学習指導要領の解説をもとに主題についての自分なりのとらえ

小学校学習指導要領解説特別の教科道徳編では「A 主として自己（正直・誠実）の5・6年生指導内容項目の中で、「誠実に、明るい心で生活すること」を取り上げている。

健康的で積極的に自分らしさを発揮できるようにするためには、自分の気持ちに偽りのないようにならなければならない。また、自己の過ちを認め、改めて生活していく素直さとともに、何事に対しても真面目に真心を込めて、明るく楽しい生活を心がけようとする姿勢を持つことが大切である。

過ちや失敗は誰にでも起こりうることである。そのときに、ともするとそのことで自分自身が攻められたり、不利な立場に立たされたりすることを回避しようとしてうそを言ったり、ごまかしたりすることがある。しかし、そのような振る舞いはあくまでも一時しのぎにすぎず、真の解決には至らない。このことによって、他者の信頼を失うばかりか、自分自身の中に後悔や自責の念、強い良心の呵責などが生じる。

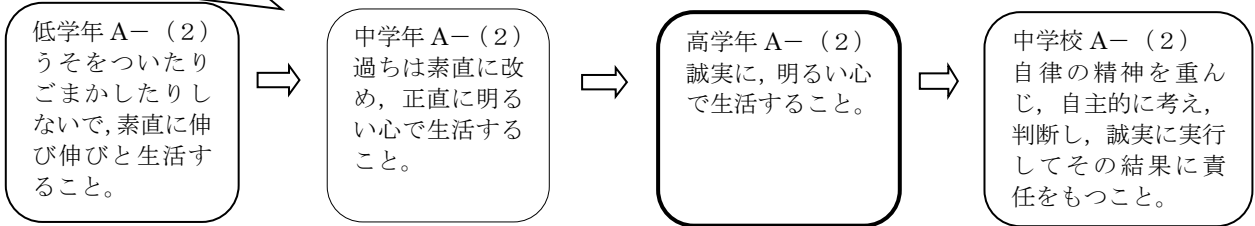
それらを乗り越えようとするのが正直な心であり、自分自身に対する真面目さであり、伸び伸びと過ごそうとする心のすがすがしい明るさである。このような誠実な生き方を大切にする心を育てていくことが重要である。

人は社会的な存在であり、家族や学校をはじめとする様々な集団や社会に属して生活を営んでいる。よりよく集団生活を送るため、基本的なマナーや礼儀作法などのきまりを、一人ひとりが守らなければならない。さらに、自分のことだけを進んで行っていくという考え

この時期の児童の主題にかかわる発達段階の一般的な様子

児童の発達段階においては、自分自身だけでなく、他者への配慮を意識することなく、自分自身に誠実に生きようとする気持ちが外に向けても発揮されるように配慮する必要がある。そのことが、より明るく真面目さを前向きに受け止めた生活を大切にするこ

【内容項目】
 内容項目にかかわるねらいを系統別にまとめていく。



(2) 児童観

本学級の児童は、4月から最高学年としての行動を意識している。全体の中での率先した動きや1年生とのかかわり等積極的に自分らしさをだしていける場が多くなっている。全体的に明るく行

動する児童は多く、自分の考えも素直に表現できる児童が多い。児童アンケートで「今までにうそをついたりごまかししたりしたことはあるか」という問いに対して、全員が「はい」と答えた。その時の気持ちとしてほとんどの児童が「いやな気持ちになった。」「もやもやする。」「申し訳ない」といった自分自身の中に後悔や自責の念が生じた。また、うそをついているその場合にもよるという考えで「わる気はないからいいのでは」としても、「うそ」をついた事実はいつまでも心に残り、うしろめたさを感じている。これらの実態をふまえ、よくないことや傍観者として過ごしてしまうことは周囲に流されてしまうこと、後ろめたさから、誇りや自信を失ってしまうことにつながることを考えられるように指導することが必要である。

主題にかかわる児童実態を書く。

- ・みとり、様子から
- ・具体的なデータから

(3) 指導観

本教材は、腕はよいが売れない手品師が、偶然に出会った一人の貧しく辛い境遇にある男の子に手品を見せ喜ばせる。翌日にも会うことを約束し、大劇場出演という自分の夢の実現と「男の子との約束を守った末に友人の誘いを断り、男の子との約束を守り前日の約束を守り男の子のもとに行くか、自分の意見は分けられると考えられる。どちらの考えも自分に対する誠実さでもあることを自覚し、夢をかきもちで手品を演じた手品師の姿を通して、良い指導に当たっては、主体的な学びをしていくために自分の心の中にある弱さを見つめ、本時のねらいを達成するために展開では自己内対話をしながら自分の考えを道徳的生活場面を想起させ、実践意欲を高めていく。

本教材は・・・

- ・教材の概要
 - ・教材のどの場面でのどのような力をつけさせていきたいか
- 指導にあたっては
- 主体的な学びにしていくために
 - 対話的な学びにしていくために
 - 深い学びにしていくために
- という3点についてねらいを達成するための手立てとして書く。

対話的な学びをしていくために、手品師が大劇場に出たいと考えている思いと男の子との約束を果たそうとする思いのどちらの立場も考えることで葛藤する心の中を多面的・多角的に考えさせていく。また、全体で話し合うだけでなく、状況に応じてペアトークを取り入れて、友達の見聞にふれさせる。

深い学びをしていくために、手品師の思いに共感的理解を深めていくように発問を構成し、自我関与を中心とした学習の展開としていく。中心場面以降の発問については、これまでの体験場面を想起させながら、終末で導入時の話題をもとに道徳的価値について新たな発見や学びをふりかえらせていく。

◎研究テーマとの関係

【研究主題】

「誰もが学ぶ喜びと自信がもてる、主体的・対話的で深い学びの創造」

○主体的な学び

- ・導入時に道徳的問題にふれ、課題意識をもつ。
- ・自分自身との関わりでとらえ、考える。
- ・新たな学びを自覚する。

○対話的な学び

- ・協働し、対話する学び。
- ・多面的・多角的に考える。

○深い学び

- ・教師の指導方法の工夫により、新たな気づきや変容がある。

8 本時の展開

(1) 準備物

場面絵 ネームプレート

(2) 学習の展開

	学習活動	主な発問と予想される児童の反応	指導上の留意点 (※評価)
導入	1 「約束」についての今までの自分を振り返る。	○約束を破ってしまった時、守った時の気持ちを振り返る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">約束を破ってしまう時は、どんな気持ちなのだろう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・申し訳ないと思う。 ・後で言われるかもしれないともやもやする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">ずっと残るもやもやの心をどう考えますか？</div>	○アンケートの結果も紹介していく。 ⊕ 今までの自分を振り返りながら 道徳的問題について課題意識をもつことができるような課題を設定する。
展開	2 教材「手品師」を聞いて話し合う。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">受話器をもち、迷いに迷っている手品師の気持ちを考えよう。</div> <p>【大劇場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大劇場に出て有名になりたい。 ・暮らし向きを少しでも楽にしたい。 ・夢が実現するのだ。 <p>【男の子との約束】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・約束したのだから行かなく <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ⊕ 主体的な学びを意図すること ⊗ 対話的な学びを意図すること ⊚ 深い学びを意図する指導法 ねらいを達成していく上での留意事項を書く。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・男の子は、自分のことを待っている。 ・約束を破ったら、ずっと後悔する。 ・約束を破るような自分は許せない。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> たった一人のお客様の前で手品をしている手品師はどんな気持ちだろう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・チャンスは逃したけれど、これでよかった ・自分の意図的に行う予定の深め発問（補助発問）は（ ）として書く。 ・喜んで ・大劇場ではな <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> (なぜこのようにすがすがしい気持ちになれるのだろう。そんな気持ちになったことがありますか。) ・約束を守ると自分で決めたことだから ・自分に正直に生きたから </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 予想される児童の反応をできるだけ書く。 ねらいとする発言は下段の方に書く。 </div>	○臨場感をもち、自我関与できるように、読み語りで教材提示をしていく。 ⊕ どちらの気持ちが強いのか、ネームプレートで意思表示する。 ⊗ 意見の交流においては、葛藤している手品師の両方の立場を考慮することで、多面的・多角的に考えられるようにしていく。 ⊚ 手品師に自我関与しながら道徳ノートに考えを書く。 ⊗ ペアで互いの考えを確認し、全体で話し合う。 ○自分の決断に清々しさを感じている手品師の気持ちに共感させる。 ⊗ 補助発問として「なぜすがすがしいのだろう。」と問うこと ⊗ 主題と結び付けて考えていくようにしていく。 ⊚ ⊕ 具体的な生活場面を想起させることで、実践意欲を高める。 ※手品師の教材を通して気づいたことをもとに、誠実に行動することが明るい生活につながることを考えることができたか。(ワークシート 発表 見取り)


終末	<p>3 新たな学びを書く。</p>	<p>今日の新たな学びを書きましょう。</p> <p>・「もやもや」が残る・・・そこには誠実な生きようとする心の芽生えがある。</p>	<p>○新たな学びを道徳ノートに書く。</p> <p>○自分の中にある誠実な心を感じながら余韻をもって終わる。</p>
-----------	--------------------	---	---

児童が新たな学びを実感するための手立てを書く。

9 板書計画

**自分に正直
誠実
すがすがしい心**

これでよかった
決めたことは間違っていない
約束を守ってすっきり



手品師

有名になりたい
暮らしを楽に
夢が実現する

約束したのだから
ほおっておけない
一度約束したから


「きっぱり」と断った手品師

自分を待ってくれている
約束を破ったらずっと後悔
自分が許せない
一度決めたこと

大劇場

ネームプレート

男の子



「約束をやぶった」いつまでも心に
もやもやが残った
悪い気がした。

ずっと残るもやもやの心って・・・